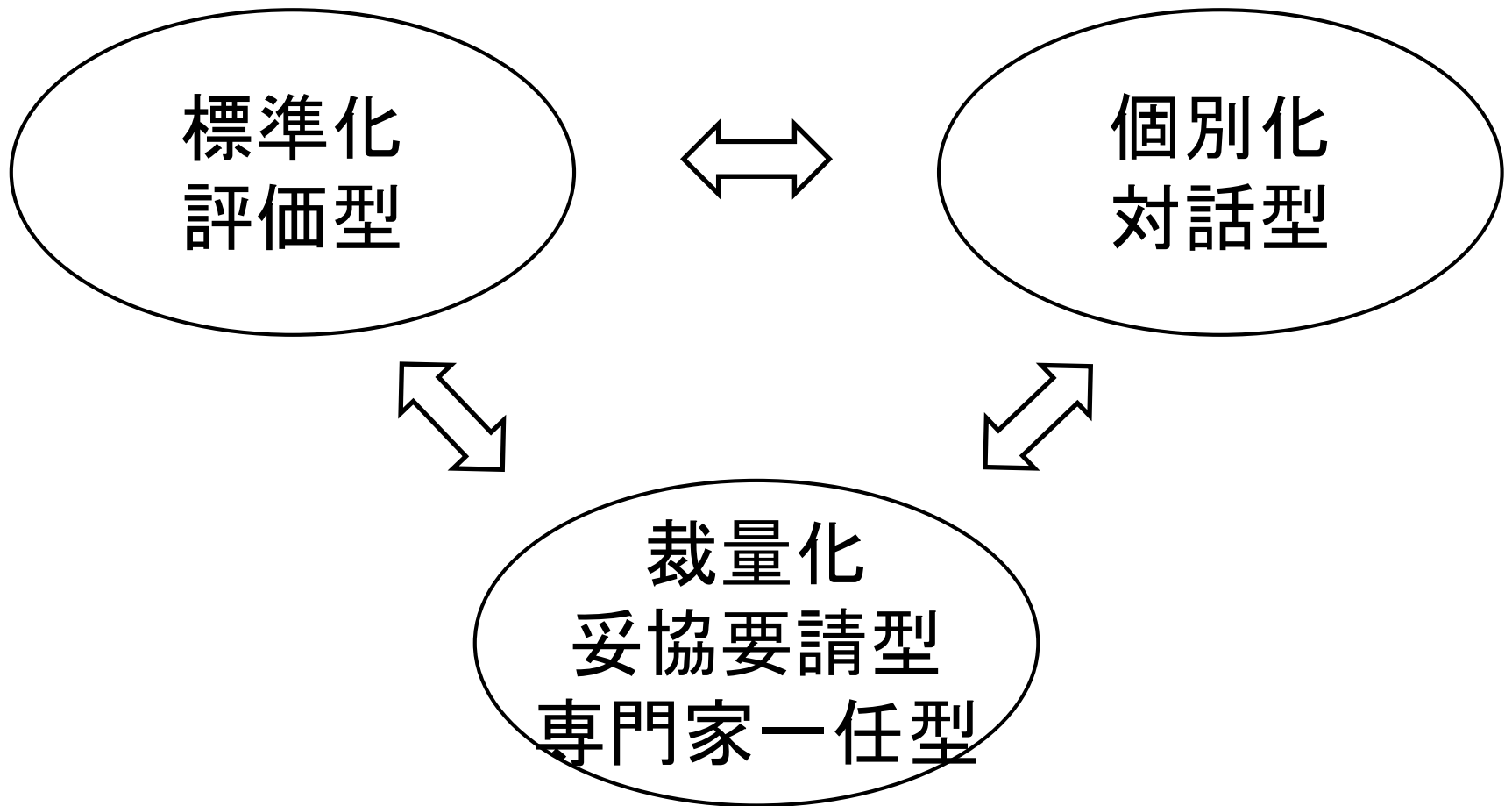


日本の調停制度の歴史4

日本の調停観



対話型調停への流れ

- 穂積重遠ら
両当事者のニーズと自主解決に重きを置く
- 1950年代 家庭裁判所 ケースワーク思想
- 1970年代 石山勝巳 家裁調査官による同席調停(家裁)
- 1990年代 原後山治(二弁仲裁)親切さの回復
- **2000年代 レビン小林久子 調停技法紹介**

日本における対話型調停(続)

- 1950年代 磯野富士子・磯野誠一の峻別論
- 1980年代 小島武司 Menkel-Meadow、Stulbergの論考紹介
竜寄喜助 サンフランシスココミュニティボードの紹介
- 1990年代 井垣康弘 石山勝巳 家裁での同席調停
岡山仲裁センター 弁護士会における同席対話型
- 2000年代 中村芳彦 いつでもどこでもだれでもメディエーション
稲葉一人 日本における草の根対話型調停
調停人養成教材モデル教材(経済産業省)
和田仁孝 医療メディエーション
ADR認証機関におけるトレーニングへの取り組み
- 2010年代 ハーグ調停
京都国際調停センター